

赤城産業

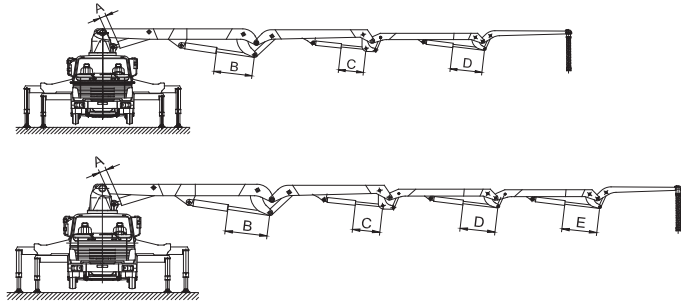
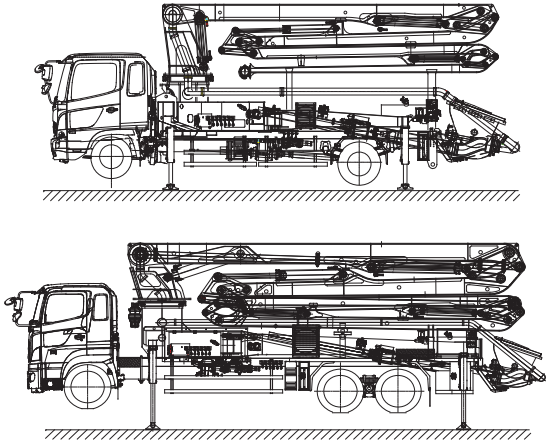
適用範囲		モデル名		HCP5RZ40	
		主仕様	吸吐弁形式	－	揺動弁
			最大吐出量	m³/h	160
			最大吐出圧力	Mpa	8.7
			7-4最大地上高	m	39.2
		適用号機		HG40A001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値	
作業装置	圧送装置	ポンプ本体	ピストンストローク回数	回/min	29
			ローター回転数	回/min	N/A
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2,600±50)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1,750±50)
			(作動油温度)	(°C)	(55±10)
		カクハツウチ 攪拌装置	回 転 速 度	min ⁻¹	40±5
			チェーンのたわみ	mm	N/A
			(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2,600±50)
			(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1,750±50)
			(作動油温度)	(°C)	(55±10)
		真空ポンプ	圧力設定値	Pa	N/A
			(設定値到達時間)	(min)	()
	圧力降下許容量		Pa	N/A	
	(保持時間)		(min)	()	
		Vベルトのたわみ	mm	N/A	
	ブーム装置	シリンダー 自然降下量	ブーム(1)シリンダー	mm	1.5mm以下
			ブーム(2)シリンダー	mm	1.5mm以下
			ブーム(3)シリンダー	mm	1.5mm以下
			ブーム(4)シリンダー	mm	
			ブーム(5)シリンダー	mm	
			(測定時間)	(min)	10
			(作動計測条件)		(-)
			(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図面No.1]
		☆ ブームシリンダー 作動時間	ブーム(1)	伸 び	sec
縮 み				sec	90±10
ブーム(2)			伸 び	sec	120±10
			縮 み	sec	110±10
ブーム(3)			伸 び	sec	120±10
			縮 み	sec	110±10
ブーム(4)			伸 び	sec	90±10
			縮 み	sec	70±10
ブーム(5)			伸 び	sec	50±10
			縮 み	sec	50±10
	(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2,600±50)		
	(作動油温度)	(°C)	(55±10)		
	(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図面No.4]		
洗浄装置	水 ポンプ (配管洗浄用)	吐出圧力	油 圧 Mpa	200±3	
			水 圧 Mpa	15~18	
			飛距離 m	20	
	空 圧 機	吐出圧力	MPa	N/A	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	()	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(±)	
	(作動油温度)	(°C)	(±)		

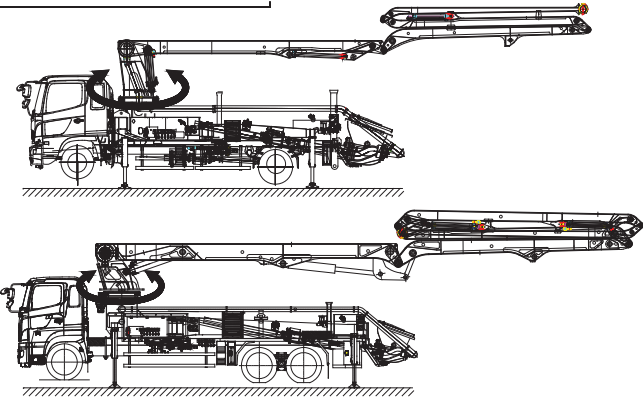
☆印：新車基準値を表す(参考値)

適用範囲		モデル		HCP5RZ40	
		主仕様	吸吐弁形式	－	揺動弁
			最大吐出量	m³/h	160
			最大吐出圧力	Mpa	8.7
			アーム最大地上高	m	39.2
		適用号機		HG40A001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値	
油圧装置	☆ 油圧機器 セット圧	主油ポンプ油圧	MPa	35±0/-5	
		弁シリンダー油圧	MPa	20±0/-5	
		攪拌モータ油圧	MPa	20±0/-5	
		ブーム油圧	MPa	35±0/-5	
		ACCガス封入圧力	MPa	19±0/-5	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2,600±50)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1,750±50)	
		(作動油温度)	(°C)	(55±10)	
車体・安全装置	☆ 旋回ベアリング 取付ボルトの締め付け	外輪取付けボルトの締め付けトルク	N・m	1,200N・m	
		内輪取付ボルトの締め付けトルク	N・m	1,200N・m	
		旋回ボルトの交換基準	年	3年	
	☆ 旋回作動速度	旋 回 速 度	sec	185±30	
		(旋回作動角度)	(度)	(370°)	
		(油圧ポンプ回転数)	(min ⁻¹)	(2,600±50)	
		(エンジン回転数)	(min ⁻¹)	(1,750±50)	
		(作動油温度)	(°C)	(55±10)	
	アウトリガー	シリンダー 自然伸縮量	各垂直シリンダー	mm	2
			(測定時間)	(min)	10
			(作業装置姿勢)	[図面No.]	[図面No.2]
特記事項					

☆印：新車基準値を表す(参考値)

赤 城 産 業

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブームシリンダー 自然降下	アウトリガを最大に張出し、ブームを水平に伸ばした状態で保持する。各ブームシリンダーにダイヤルゲージを取付け、10分間の自然降下量を計測する。ブーム先端はホースのみとし過重は加えない。	図-1 ブームシリンダー自然降下計測姿勢 【下図参照】 ※HCP3Z18についても同様とする
		
アウトリガシリンダー 自然降下	ブームを収納状態にし、アウトリガーを張り出し、10分間の自然伸縮量を計測する。	図-2 アウトリガシリンダー自然降下 【下図参照】
		

項 目	測 定 方 法	計 測 姿 勢
ブーム旋回 作動速度	アウトリガを最大に貼り出し、ブームを水平状態にし旋回時間を計測する。	図-3 ブーム旋回作動速度計測 【下図参照】
		
	図-4 ブーム作動速度計測姿勢	